りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

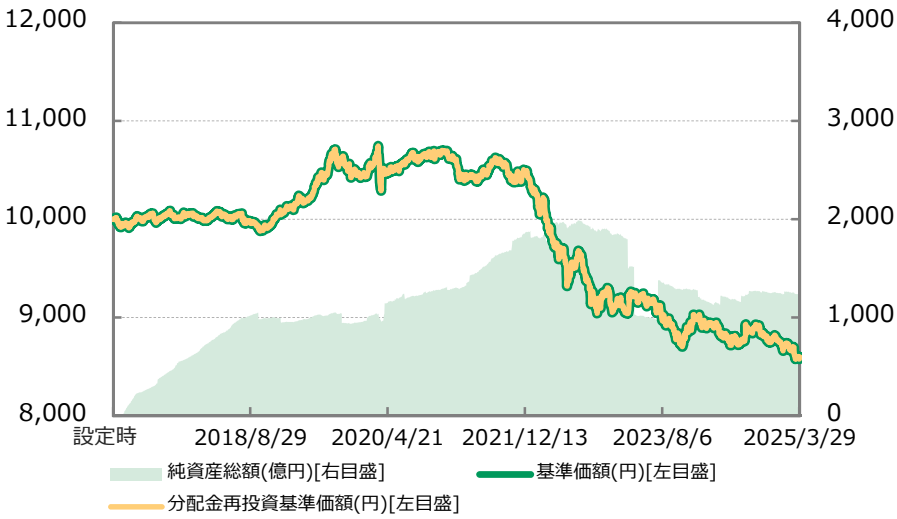
FWりそな円建債券アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	8,599円	純資産総額	1,236億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	-1.1%
3ヵ月	-1.7%
6ヵ月	-3.4%
1年	-3.9%
3年	-12.9%
設定来	-14.0%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

日本10年国債利回りは、2008年10月以来となる1.59%まで上昇しました。3月の金融政策決定会合では政策金利が据え置かれましたが、植田総裁は会見で春闘の進捗について「オントラックの中でもやや強め」と評価し、利上げ継続姿勢を示しました。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は-1.1%となりました。
ファンドの騰落率に対する寄与度では、明治安田日本債券アクティブ・ファンド、ネオ・ジャパン債券ファンドが主なマイナス要因となりました。
指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。
指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。
ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121001)

FWりそな円建債券アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
明治安田日本債券アクティブ・ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）	明治安田アセットマネジメント株式会社	25.3%	-1.0%	-1.9%	-2.8%
アムンディ円債アクティブ・ファンド（適格機関投資家専用）	アムンディ・ジャパン株式会社	12.0%	-1.1%	-2.5%	-4.0%
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	6.9%	-1.1%	-2.3%	-3.7%
ネオ・ジャパン債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	25.4%	-1.0%	-2.1%	-3.0%
ネオ・ヘッジ付債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	11.9%	-1.3%	-0.3%	-3.4%
キャリーエンハンスト・グローバル債券ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	2.8%	-1.5%	-3.1%	-4.2%
Ｏｎｅヘッジ付外国債券アクティブファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	アセットマネジメントOne株式会社	8.4%	-1.2%	-0.6%	-3.7%
グローバル債券アクティブオープン（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	SBI岡三アセットマネジメント株式会社*	6.7%	-1.0%	-0.2%	-3.3%
ＲＭ国内債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.2%	-1.0%	-2.4%	-3.7%
ＲＭ先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり）	りそなアセットマネジメント株式会社	0.1%	-0.7%	0.2%	-2.8%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな円建債券アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

明治安田日本債券アクティブ・ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.6%
先物	2.8%
現金等	1.4%
合計	102.8%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.74
最終利回り	2.31%
直接利回り	1.59%
修正デュレーション	8.68
銘柄数	167

●組入上位５銘柄

銘柄名	償還日	組入比率
第３７７回利付国債１０年	2034/12/20	4.3%
第２回武田薬品工業無担保社債（劣後特約付）	2029/6/25	3.6%
第８３回利付国債３０年	2054/6/20	3.5%
第３６７回利付国債１０年	2032/6/20	3.5%
第１回住友化学無担保社債（劣後特約付）	2029/12/13	2.5%

アムンディ円債アクティブ・ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	99.7%
先物	–
現金等	0.3%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	9.71
最終利回り	1.47%
直接利回り	1.01%
修正デュレーション	8.61
銘柄数	93

●組入上位５銘柄

銘柄名	償還日	組入比率
第３７７回利付国債（１０年）	2034/12/20	7.6%
第４６２回利付国債（２年）	2026/7/1	5.0%
第３７４回利付国債（１０年）	2034/3/20	4.7%
第３７５回利付国債（１０年）	2034/6/20	4.5%
第１７４回利付国債（５年）	2029/9/20	4.2%

りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.0%
先物	–
現金等	2.0%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	10.04
最終利回り	1.52%
直接利回り	1.12%
修正デュレーション	8.07
銘柄数	118

●組入上位５銘柄

銘柄名	償還日	組入比率
第４５５回利付国債（２年）	2025/12/1	6.0%
第４５８回利付国債（２年）	2026/3/1	6.0%
第８５回利付国債（３０年）	2054/12/20	5.5%
第８４回利付国債（３０年）	2054/9/20	3.8%
第１８９回利付国債（２０年）	2044/6/20	3.7%

ネオ・ジャパン債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.2%
先物	–
現金等	1.8%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	-
最終利回り	2.23%
直接利回り	1.54%
修正デュレーション	8.19
銘柄数	167

●組入上位５銘柄

銘柄名	償還日	組入比率
4 ソフトバンクG劣後FR	2056/2/4	3.0%
2 武田薬品劣後FR	2084/6/25	3.0%
376 10年国債	2034/9/20	2.9%
3 野村HD劣後FR	-	2.6%
13三井住友FG劣FR	-	2.3%

ネオ・ヘッジ付債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	93.2%
先物	3.8%
現金等	6.8%
合計	103.8%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	55.8%
ユーロ	27.2%
オフショア人民元	4.4%
英ポンド	3.3%
その他	9.3%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.28
最終利回り	4.11%
直接利回り	3.88%
修正デュレーション	7.14
銘柄数	112

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

FWりそな円建債券アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

キャリーエンハンスト・グローバル債券ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	97.7%
先物	–
現金等	2.3%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
日本円	80.3%
ユーロ	17.4%
–	–
–	–
その他	2.3%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	9.63
最終利回り	1.73%
直接利回り	1.22%
修正デュレーション	9.00
銘柄数	7

Ｏｎｅヘッジ付外国債券アクティブファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	95.5%
先物	–
現金等	4.5%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	47.0%
ユーロ	30.2%
メキシコペソ	1.2%
英ポンド	5.0%
その他	16.6%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	7.88
最終利回り	3.45%
直接利回り	2.75%
修正デュレーション	6.38
銘柄数	43

グローバル債券アクティブオープン（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	89.2%
先物	25.7%
現金等	10.8%
合計	125.7%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	44.6%
ユーロ	23.8%
英ポンド	11.0%
日本円	10.5%
その他	10.2%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	7.98
最終利回り	3.01%
直接利回り	2.39%
修正デュレーション	6.44
銘柄数	81

ＲＭ国内債券マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	99.2%
先物	–
現金等	0.8%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	9.30
最終利回り	1.28%
直接利回り	0.71%
修正デュレーション	8.39

●組入上位５銘柄

銘柄名	償還日	組入比率
第１４７回利付国債（５年）	2026/3/20	1.5%
第１４８回利付国債（５年）	2026/6/20	1.4%
第１５３回利付国債（５年）	2027/6/20	1.2%
第３６７回日本国債（１０年）	2032/6/20	1.2%
第３６６回日本国債（１０年）	2032/3/20	1.2%

ＲＭ先進国債券マザーファンド（為替ヘッジあり）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	95.7%
先物	–
現金等	4.3%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	45.6%
ユーロ	28.0%
中国元	10.8%
英ポンド	4.9%
その他	10.6%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.59
最終利回り	3.37%
直接利回り	2.77%
修正デュレーション	6.14
為替ヘッジ比率	99.2%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

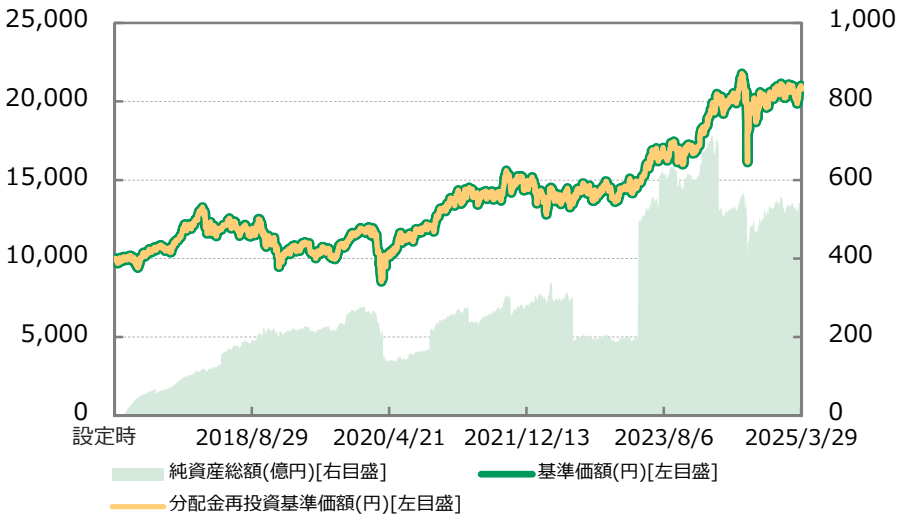
FWりそな国内株式アクティブファンド

追加型投信／国内／株式

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	20,792円	純資産総額	540.2億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	1.0%
3ヵ月	-1.7%
6ヵ月	1.0%
1年	2.6%
3年	43.4%
設定来	107.9%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

日経平均株価、東証株価指数（TOPIX）ともに続落で終わりました。業種別騰落率では、保険業や銀行業などの金融セクターが上昇する一方、電気機器、輸送用機器など米国の関税政策の影響が懸念される輸出関連セクターが下落しました。規模別株価指数の月間騰落率では、TOPIX大型株指数が-1.4%、同小型株指数は+0.5%と小型株優勢でした。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は1.0%となりました。
ファンドの騰落率に対する寄与度では、ダイワ・バリュー株・オープン、りそな日本株リサーチ戦略ファンドが主なプラス要因となりました。
指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。
指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。
ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121002)

FWりそな国内株式アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
ダイワ・ジャパン・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	30.8%	-0.9%	-3.2%	-1.1%
ダイワ・バリュー株・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	25.0%	2.9%	0.4%	4.0%
りそな日本株リサーチ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	アムンディ・ジャパン株式会社	25.7%	1.2%	-2.5%	0.5%
りそな国内株式グローバル企業ファンド（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	2.2%	0.1%	-7.4%	-8.2%
りそな国内株式・高株主還元ファンド（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	15.1%	1.8%	2.0%	-
ＲＭ国内株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.9%	0.2%	-3.4%	1.8%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

りそなアセットマネジメント

FWりそな国内株式アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

ダイワ・ジャパン・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.7%
先物	–
現金等	2.3%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	電気機器	29.0%
2	情報・通信業	10.1%
3	その他製品	9.5%
4	化学	8.4%
5	機械	7.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:70銘柄）

	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	7.8%
2	リクルートホールディングス	サービス業	5.7%
3	任天堂	その他製品	5.3%
4	キーエンス	電気機器	4.9%
5	日立製作所	電気機器	3.7%

ダイワ・バリュー株・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.1%
先物	–
現金等	2.9%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	電気機器	12.3%
2	銀行業	12.2%
3	機械	9.1%
4	情報・通信業	7.3%
5	輸送用機器	6.7%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:109銘柄）

	銘柄名	業種	組入比率
1	東京海上ホールディングス	保険業	4.2%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.2%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.1%
4	小松製作所	機械	3.9%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%

りそな日本株リサーチ戦略ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	98.8%
先物	–
現金等	1.2%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	電気機器	24.1%
2	銀行業	12.9%
3	情報・通信業	9.4%
4	輸送用機器	7.3%
5	保険業	4.7%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:63銘柄）

	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	5.3%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	4.7%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.6%
4	日立製作所	電気機器	4.5%
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	4.2%

りそな国内株式グローバル企業ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	98.8%
先物	–
現金等	1.2%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	電気機器	18.8%
2	情報・通信業	8.9%
3	医薬品	8.9%
4	輸送用機器	8.3%
5	化学	7.9%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:35銘柄）

	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	7.1%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	6.7%
3	ＨＯＹＡ	精密機器	5.4%
4	伊藤忠商事	卸売業	5.2%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.7%

りそな国内株式・高株主還元ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	99.4%
先物	–
現金等	0.6%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	輸送用機器	16.2%
2	卸売業	13.6%
3	海運業	12.6%
4	電気機器	7.8%
5	食料品	7.7%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:55銘柄）

	銘柄名	業種	組入比率
1	三菱商事	卸売業	5.2%
2	MS&ADインシュアランス グループホールディングス	保険業	5.1%
3	三井物産	卸売業	5.1%
4	商船三井	海運業	5.1%
5	日本郵船	海運業	5.0%

ＲＭ国内株式マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	99.7%
先物	0.4%
現金等	-0.1%
合計	100.0%

●組入上位５業種

	業種	組入比率
1	電気機器	17.8%
2	銀行業	9.2%
3	情報・通信業	7.7%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	6.5%

●組入上位５銘柄

	銘柄名	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%
2	ソニーグループ	電気機器	3.4%
3	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1%
4	日立製作所	電気機器	2.5%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

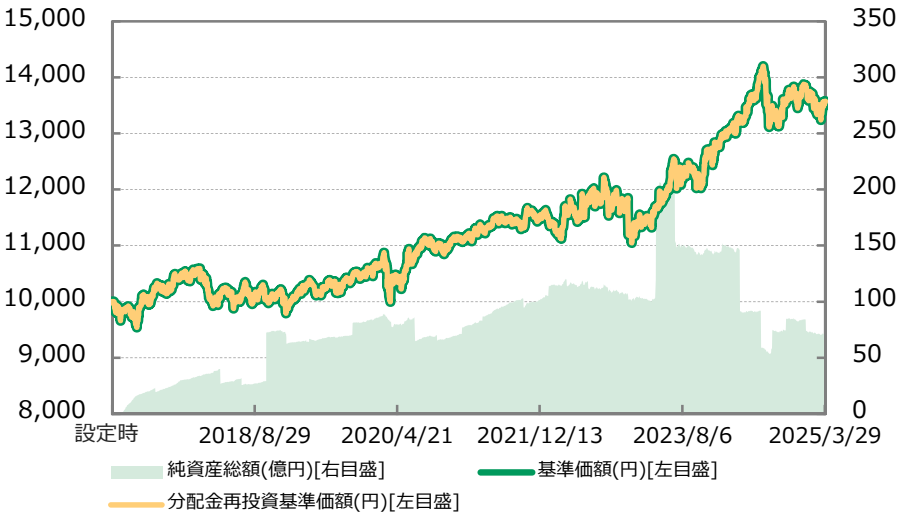
FWりそな先進国債券アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	13,575円	純資産総額	71.4億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	1.2%
3ヵ月	-2.2%
6ヵ月	0.8%
1年	1.9%
3年	17.0%
設定来	35.8%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

米国10年国債利回りは4.2%台を中心に横ばい圏で推移しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では予想通り政策金利が据え置かれる一方、政策委員の予測（中央値）では2025年､2026年ともに年間2回の利下げ見通しが維持され、買い安心感につながりました。欧州では、ドイツの財政拡張案発表をきっかけに売りが膨らみ、独10年国債利回りは前月末の2.4%から一時2.9%近辺に上昇しました。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は1.2%となりました。
ファンドの騰落率に対する寄与度では、ブランディワイン外国債券ファンド、ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンドが主なプラス要因となりました。
指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。
指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。
ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121003)

FWりそな先進国債券アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社	9.3%	1.3%	-2.7%	0.3%
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）	野村アセットマネジメント株式会社	21.1%	1.7%	-2.0%	-0.3%
グローバル債券コア・ファンド（適格機関投資家専用）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	19.0%	1.1%	-2.3%	1.3%
ブランディワイン外国債券ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	25.5%	2.1%	-1.3%	-0.6%
Amundi Funds US・コーポレート・ボンド	アムンディ・アセットマネジメント・US・インク	24.8%	-0.0%	-2.4%	4.1%
ＲＭ先進国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.1%	1.0%	-3.0%	2.1%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな先進国債券アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.4%
先物	–
現金等	1.6%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	52.1%
ユーロ	20.6%
中国元	9.4%
英ポンド	5.6%
その他	12.4%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	11.95
最終利回り	3.89%
直接利回り	3.50%
修正デュレーション	6.82
銘柄数	73

ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	90.7%
先物	53.4%
現金等	9.3%
合計	153.4%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
ユーロ	37.2%
米ドル	21.9%
中国元	10.2%
英ポンド	6.9%
その他	23.9%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.44
最終利回り	3.12%
直接利回り	2.85%
修正デュレーション	7.71
銘柄数	52

グローバル債券コア・ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	96.4%
先物	52.3%
現金等	3.7%
合計	152.4%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	52.7%
ユーロ	24.0%
中国元	10.9%
英ポンド	3.9%
その他	8.5%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	12.15
最終利回り	4.12%
直接利回り	-
修正デュレーション	6.33
銘柄数	523

ブランディワイン外国債券ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.0%
先物	–
現金等	2.0%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
ユーロ	38.1%
米ドル	29.1%
メキシコペソ	11.8%
豪ドル	6.4%
その他	14.5%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	16.61
最終利回り	5.40%
直接利回り	5.30%
修正デュレーション	6.19
銘柄数	29

Amundi Funds US・コーポレート・ボンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.2%
先物	–
現金等	1.8%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	100.0%
–	–
–	–
–	–
その他	–
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	10.00
最終利回り	5.39%
直接利回り	5.04%
修正デュレーション	6.87
銘柄数	209

ＲＭ先進国債券マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.5%
先物	–
現金等	1.5%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	47.1%
ユーロ	28.9%
中国元	11.0%
英ポンド	5.1%
その他	7.9%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.83
最終利回り	3.47%
直接利回り	2.88%
修正デュレーション	6.32

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

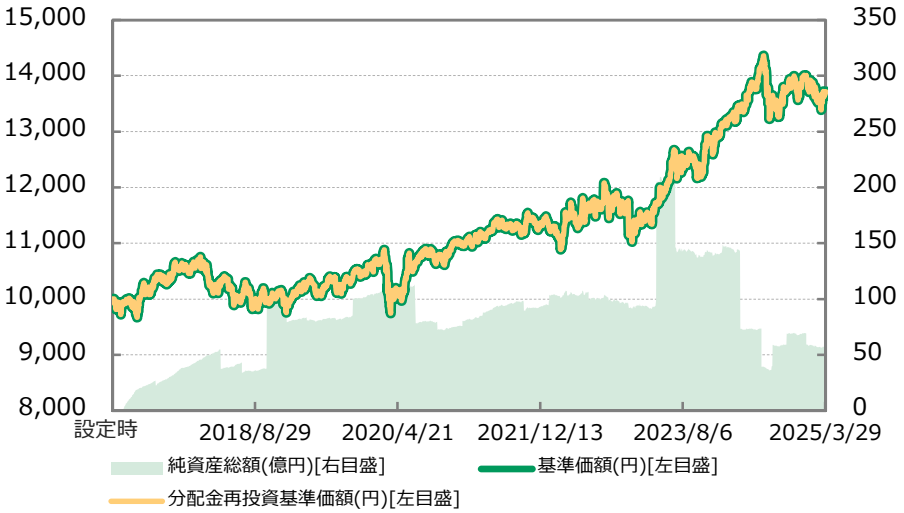
FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	13,718円	純資産総額	57.2億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	1.1%
3ヵ月	-2.1%
6ヵ月	0.2%
1年	1.8%
3年	19.6%
設定来	37.2%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

米国10年国債利回りは4.2%台を中心に横ばい圏で推移しました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では予想通り政策金利が据え置かれる一方、政策委員の予測（中央値）では2025年、2026年ともに年間2回の利下げ見通しが維持され、買い安心感につながりました。欧州では、ドイツの財政拡張案発表をきっかけに売りが膨らみ、独10年国債利回りは前月末の2.4%から一時2.9%近辺に上昇しました。

新興国債券は上昇しました。追加利下げ期待が高まったインドと、2会合連続で0.5%の大幅利下げを決定したメキシコの上昇が目立ちました。政治の不安定化リスクが高まっているトルコは、債券・為替ともに大幅下落となりました。

<運用状況>

2月のファンドの騰落率は1.1%となりました。

ファンドの騰落率に対する寄与度では、ブランディワイン外国債券ファンド、ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド、新興国債券ファンドでエマージング債券ファンド（為替戦略型）が主なプラス要因となりました。

指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。

指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。

また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。

ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121004)

FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社	7.8%	1.3%	-2.7%	0.3%
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）	野村アセットマネジメント株式会社	16.7%	1.7%	-2.0%	-0.3%
グローバル債券コア・ファンド（適格機関投資家専用）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	15.1%	1.1%	-2.3%	1.3%
ブランディワイン外国債券ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	20.6%	2.1%	-1.3%	-0.6%
Amundi Funds US・コーポレート・ボンド	アムンディ・アセットマネジメント・US・インク	19.7%	-0.0%	-2.4%	4.1%
ＧＩＭ ＦＯＦｓ用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）	ＪＰモルガン・アセット・マネジメント株式会社	6.2%	0.7%	-3.1%	0.3%
エマージング債券ファンド（為替戦略型）（ＦｏＦｓ用）（適格機関投資家専用）	ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社	13.4%	0.4%	-1.0%	-3.2%
ＲＭ先進国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.0%	1.0%	-3.0%	2.1%
ＲＭ新興国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.1%	1.1%	-2.0%	1.0%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.4%
先物	–
現金等	1.6%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	52.1%
ユーロ	20.6%
中国元	9.4%
英ポンド	5.6%
その他	12.4%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	11.95
最終利回り	3.89%
直接利回り	3.50%
修正デュレーション	6.82
銘柄数	73

ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	90.7%
先物	53.4%
現金等	9.3%
合計	153.4%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
ユーロ	37.2%
米ドル	21.9%
中国元	10.2%
英ポンド	6.9%
その他	23.9%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.44
最終利回り	3.12%
直接利回り	2.85%
修正デュレーション	7.71
銘柄数	52

グローバル債券コア・ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	96.4%
先物	52.3%
現金等	3.7%
合計	152.4%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	52.7%
ユーロ	24.0%
中国元	10.9%
英ポンド	3.9%
その他	8.5%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	12.15
最終利回り	4.12%
直接利回り	-
修正デュレーション	6.33
銘柄数	523

ブランディワイン外国債券ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.0%
先物	–
現金等	2.0%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
ユーロ	38.1%
米ドル	29.1%
メキシコペソ	11.8%
豪ドル	6.4%
その他	14.5%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	16.61
最終利回り	5.40%
直接利回り	5.30%
修正デュレーション	6.19
銘柄数	29

Amundi Funds US・コーポレート・ボンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.2%
先物	–
現金等	1.8%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	100.0%
–	–
–	–
–	–
その他	–
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	10.00
最終利回り	5.39%
直接利回り	5.04%
修正デュレーション	6.87
銘柄数	209

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

ＧＩＭ ＦＯＦｓ用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	96.3%
先物	-1.2%
現金等	3.7%
合計	98.8%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
オフショア人民元	41.6%
メキシコペソ	7.7%
チェココルナ	5.5%
ポーランドズロチ	4.7%
その他	40.5%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	9.14
最終利回り	6.12%
直接利回り	6.02%
修正デュレーション	6.36
銘柄数	88

エマージング債券ファンド（為替戦略型）（ＦｏＦｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	93.7%
先物	–
現金等	6.3%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
メキシコペソ	18.4%
インドネシアルピア	17.5%
マレーシアリンギット	15.1%
南アフリカランド	12.6%
その他	36.4%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	9.84
最終利回り	9.26%
直接利回り	8.18%
修正デュレーション	5.64
銘柄数	76

ＲＭ先進国債券マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	98.5%
先物	–
現金等	1.5%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
米ドル	47.1%
ユーロ	28.9%
中国元	11.0%
英ポンド	5.1%
その他	7.9%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	8.83
最終利回り	3.47%
直接利回り	2.88%
修正デュレーション	6.32

ＲＭ新興国債券マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
債券	99.6%
先物	–
現金等	0.4%
合計	100.0%

●通貨別資産配分

通貨	組入比率
メキシコペソ	10.3%
マレーシアリンギット	9.9%
インドネシアルピア	9.9%
中国元	9.8%
その他	60.1%
合計	100.0%

●ファンドの特性値

平均残存年数	7.66
最終利回り	6.77%
直接利回り	5.79%
修正デュレーション	5.20

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

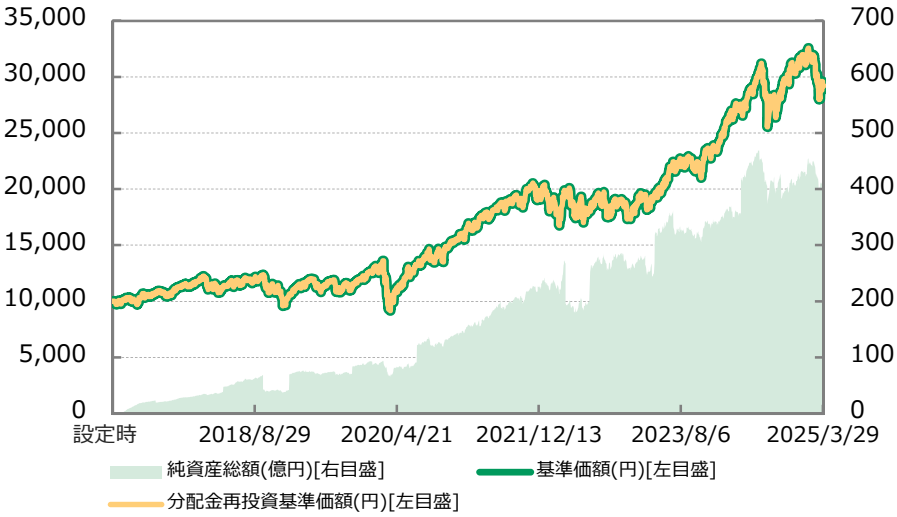
FWりそな先進国株式アクティブファンド

追加型投信／内外／株式

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	29,201円	純資産総額	415.7億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	-3.5%
3ヵ月	-8.7%
6ヵ月	1.8%
1年	5.9%
3年	46.7%
設定来	192.0%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

米国では、S&P500指数など主要3指数は揃って続落しました。トランプ政権の関税政策発表を受けて景気減速懸念が高まり、売り優勢となりました。S&P500指数は、調整局面入りの目安となる直近高値から10%超下落する場面も見られました。欧州では、ECB（欧州中央銀行）による5会合連続の利下げやドイツの財政拡大期待を背景に買いが先行し、独DAX指数は月前半に最高値を更新しました。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は-3.5%となりました。
ファンドの騰落率に対する寄与度では、りそな先進国厳選株式ファンド、インターナショナル株式ファンドが主なマイナス要因となりました。
指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。
指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。
ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121005)

FWりそな先進国株式アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	20.2%	-3.6%	-8.9%	1.9%
インターナショナル株式ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	19.5%	-4.0%	-8.5%	0.7%
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	アライアンス・バーンスタイン株式会社	13.3%	-4.4%	-11.8%	1.5%
フィデリティ・欧州株・ファンド（適格機関投資家専用）	フィデリティ投信株式会社	2.5%	-0.8%	0.2%	3.9%
りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	19.4%	-4.4%	-10.1%	0.5%
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	23.9%	-1.9%	-6.1%	4.5%
ＲＭ先進国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.9%	-3.6%	-8.5%	3.0%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな先進国株式アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	99.5%
先物	–
現金等	0.5%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	75.9%
イギリス	4.3%
ドイツ	3.2%
フランス	3.2%
スイス	2.0%
その他	11.4%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:118銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	4.8%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.8%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.6%
4	ALPHABET INC-A	アメリカ	3.7%
5	AMAZON.COM INC	アメリカ	3.6%

インターナショナル株式ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.7%
先物	–
現金等	2.3%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	65.2%
イギリス	5.4%
ドイツ	5.2%
オランダ	4.6%
台湾	4.2%
その他	15.3%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:80銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.3%
2	ELI LILLY & CO	アメリカ	4.0%
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	3.9%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	3.6%
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	3.4%

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	95.9%
先物	–
現金等	4.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	92.0%
イタリア	0.9%
台湾	0.9%
カナダ	0.6%
スイス	0.6%
その他	5.0%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:50銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	AMAZON. COM INC	アメリカ	7.5%
2	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	6.3%
3	NVIDIA CORP	アメリカ	5.8%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	5.3%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	5.1%

フィデリティ・欧州株・ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.0%
先物	–
現金等	3.0%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
イギリス	29.0%
フランス	15.3%
ドイツ	13.5%
スイス	7.0%
オランダ	6.5%
その他	28.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:53銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	EXPERIAN PLC	ジャージー	5.9%
2	SAP SE	ドイツ	5.4%
3	RELX PLC	イギリス	5.2%
4	AIR LIQUIDE SA	フランス	4.0%
5	BEIERSDORF AG	ドイツ	3.6%

りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	98.4%
先物	–
現金等	1.6%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	67.8%
フランス	10.1%
ドイツ	7.0%
スイス	3.5%
デンマーク	3.4%
その他	8.2%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:29銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ドミノ・ピザ	アメリカ	3.6%
2	アクソン・エンタープライズ	アメリカ	3.6%
3	ハノーバー再保険	ドイツ	3.5%
4	リンツ＆シュプルングリー	スイス	3.5%
5	ピザ	アメリカ	3.5%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

FWりそな先進国株式アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.6%
先物	–
現金等	2.4%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	73.1%
オランダ	4.1%
カナダ	3.5%
イギリス	2.9%
フランス	2.7%
その他	13.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：243銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.3%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.5%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	3.4%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.6%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	2.1%

ＲＭ先進国株式マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.7%
先物	2.4%
現金等	-0.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	77.0%
カナダ	3.0%
イギリス	2.9%
ドイツ	2.4%
フランス	2.4%
その他	12.2%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.2%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.1%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	2.1%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

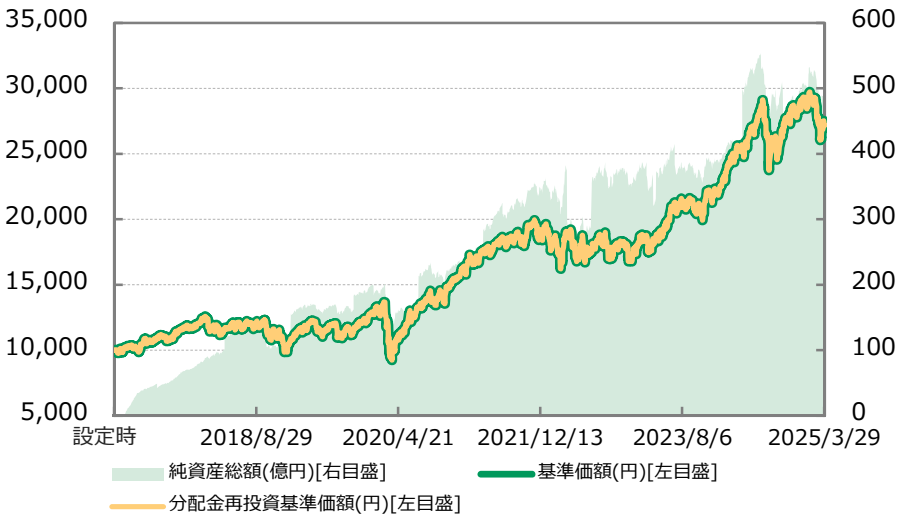
FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド

追加型投信／内外／株式

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	27,204円	純資産総額	494.2億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	-2.6%
3ヵ月	-7.3%
6ヵ月	1.6%
1年	6.4%
3年	42.7%
設定来	172.0%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<市場動向>

米国では、S&P500指数など主要3指数は揃って続落しました。トランプ政権の関税政策発表を受けて景気減速懸念が高まり、売り優勢となりました。S&P500指数は、調整局面入りの目安となる直近高値から10%超下落する場面も見られました。欧州では、ECB（欧州中央銀行）による5会合連続の利下げやドイツの財政拡大期待を背景に買いが先行し、独DAX指数は月前半に最高値を更新しました。

新興国株式は、現地通貨建てで上昇しました。全人代（全国人民代表大会、国会に相当）で消費刺激策が打ち出された中国と、出遅れ感が目立っていたインドの反発が目立ちました。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は-2.6%となりました。

ファンドの騰落率に対する寄与度では、先進国株式ファンドでりそな先進国厳選株式ファンド、インターナショナル株式ファンド、新興国株式ファンドでロベコ・QIエマージング・マーケッツ・アクティブ・エクイティが主なマイナス要因となりました。

指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。

指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。

また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。

ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121006)

FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	15.8%	-3.6%	-8.9%	1.9%
インターナショナル株式ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	15.7%	-4.0%	-8.5%	0.7%
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	アライアンス・バーンスタイン株式会社	10.5%	-4.4%	-11.8%	1.5%
フィデリティ・欧州株・ファンド（適格機関投資家専用）	フィデリティ投信株式会社	1.8%	-0.8%	0.2%	3.9%
りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	15.4%	-4.4%	-10.1%	0.5%
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略（FOFs用）（適格機関投資家専用）	大和アセットマネジメント株式会社	18.8%	-1.9%	-6.1%	4.5%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド（適格機関投資家専用）	アライアンス・バーンスタイン株式会社	3.9%	1.5%	-2.3%	2.4%
シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	8.3%	1.9%	-0.8%	1.0%
ロベコ・QIエマージング・マーケッツ・アクティブ・エクイティ	ロベコ・インスティチューショナル・アセット・マネジメント・ビーヴイ	8.3%	0.3%	-1.4%	2.5%
ＲＭ先進国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	1.1%	-3.6%	-8.5%	3.0%
ＲＭ新興国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.1%	0.0%	-1.7%	0.5%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	99.5%
先物	–
現金等	0.5%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	75.9%
イギリス	4.3%
ドイツ	3.2%
フランス	3.2%
スイス	2.0%
その他	11.4%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：118銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	4.8%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.8%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.6%
4	ALPHABET INC-A	アメリカ	3.7%
5	AMAZON.COM INC	アメリカ	3.6%

インターナショナル株式ファンド（FOFｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.7%
先物	–
現金等	2.3%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	65.2%
イギリス	5.4%
ドイツ	5.2%
オランダ	4.6%
台湾	4.2%
その他	15.3%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：80銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.3%
2	ELI LILLY & CO	アメリカ	4.0%
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	3.9%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	3.6%
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	3.4%

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	95.9%
先物	–
現金等	4.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	92.0%
イタリア	0.9%
台湾	0.9%
カナダ	0.6%
スイス	0.6%
その他	5.0%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：50銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	AMAZON. COM INC	アメリカ	7.5%
2	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	6.3%
3	NVIDIA CORP	アメリカ	5.8%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	5.3%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	5.1%

フィデリティ・欧州株・ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.0%
先物	–
現金等	3.0%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
イギリス	29.0%
フランス	15.3%
ドイツ	13.5%
スイス	7.0%
オランダ	6.5%
その他	28.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：53銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	EXPERIAN PLC	ジャージー	5.9%
2	SAP SE	ドイツ	5.4%
3	RELX PLC	イギリス	5.2%
4	AIR LIQUIDE SA	フランス	4.0%
5	BEIERSDORF AG	ドイツ	3.6%

りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	98.4%
先物	–
現金等	1.6%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	67.8%
フランス	10.1%
ドイツ	7.0%
スイス	3.5%
デンマーク	3.4%
その他	8.2%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：29銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ドミノ・ピザ	アメリカ	3.6%
2	アクソン・エンタープライズ	アメリカ	3.6%
3	ハノーバー再保険	ドイツ	3.5%
4	リンツ＆シュプルングリー	スイス	3.5%
5	ピザ	アメリカ	3.5%

ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略（FOFs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.6%
先物	–
現金等	2.4%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	73.1%
オランダ	4.1%
カナダ	3.5%
イギリス	2.9%
フランス	2.7%
その他	13.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数：243銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.3%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.5%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	3.4%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.6%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	2.1%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	96.2%
先物	–
現金等	3.8%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
中国	29.9%
インド	15.8%
台湾	13.8%
韓国	9.2%
ブラジル	6.6%
その他	24.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:56銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	8.6%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	5.8%
3	SK HYNIX INC	韓国	3.5%
4	MEDIATEK INC	台湾	3.3%
5	MEITUAN-CLASS B	中国	3.3%

シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.8%
先物	–
現金等	2.2%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
中国	28.2%
台湾	19.3%
インド	13.3%
韓国	8.4%
ブラジル	6.9%
その他	23.9%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:113銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICON	台湾	9.1%
2	TENCENT HOLDINGS	中国	6.6%
3	SAMSUNG ELECTRONICS	韓国	3.2%
4	MEITUAN-B	中国	2.4%
5	HDFC BANK LTD	インド	2.1%

ロベコ・QIエマージング・マーケッツ・アクティブ・エクイティ

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.3%
先物	2.6%
現金等	0.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アフリカ	1.4%
アメリカ	6.1%
アジア	82.3%
欧州	3.5%
中東	6.8%
その他	0.0%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄（組入銘柄数:395銘柄）

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Lt	アジア	9.1%
2	Tencent Holdings Ltd	アジア	4.3%
3	Alibaba Group Holding Ltd	アジア	2.5%
4	Meituan	アジア	1.8%
5	Samsung Electronics Co Ltd	アジア	1.7%

ＲＭ先進国株式マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.7%
先物	2.4%
現金等	-0.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	77.0%
カナダ	3.0%
イギリス	2.9%
ドイツ	2.4%
フランス	2.4%
その他	12.2%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.2%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.1%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	2.1%

ＲＭ新興国株式マザーファンド

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.4%
先物	2.6%
現金等	-0.1%
合計	100.0%

●国・地域別配分

国・地域	組入比率
中国	30.3%
台湾	18.1%
インド	16.6%
韓国	9.1%
ブラジル	4.0%
その他	21.7%
合計	100.0%

●組入上位５銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	9.5%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	5.0%
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	3.4%
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	2.3%
5	XIAOMI CORP-CLASS B	中国	1.4%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

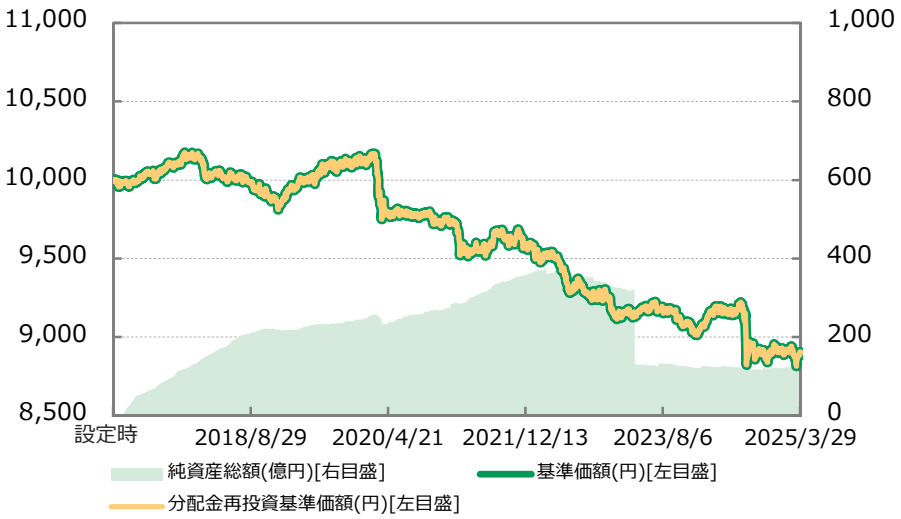
FWりそな絶対収益アクティブファンド

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	8,903円	純資産総額	122.5億円



基準価額の騰落率

1ヵ月	0.1%
3ヵ月	-0.3%
6ヵ月	-0.3%
1年	-3.0%
3年	-6.4%
設定来	-11.0%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<運用状況>

3月のファンドの騰落率は0.1%となりました。
ファンドの騰落率に対する寄与度では、りそな国内株式マーケットニュートラル、ＧＢＣＡファンドＲが主なプラス要因となりました。
指定投資信託証券毎の配分比率は2月末の水準を維持しました。
指定投資信託証券の高位組入を維持しました。

<今後の運用方針>

指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
また運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率よく活かした配分を行います。
ポートフォリオ全体のリスク特性が過度に偏ることのないよう配分比率の調整を行い、長期的に安定した運用を目指します。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。
(121007)

FWりそな絶対収益アクティブファンド

指定投資信託証券組入比率・騰落率

指定投資信託証券	運用会社	組入比率	騰落率		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家専用）	ニッセイアセットマネジメント株式会社	4.6%	-0.9%	-1.5%	-3.0%
ＦＯＦｓ用ＧＢＣＡファンドＲ（適格機関投資家専用）	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	20.0%	0.4%	0.0%	-0.1%
りそな国内株式マーケットニュートラル（ＦｏＦｓ用）（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	21.5%	0.7%	-1.0%	-0.3%
スパークス・ファンド・匠（ＦＯＦs用）（適格機関投資家専用）	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	14.5%	0.0%	1.5%	3.5%
りそな０－５年円建公社債ラダー型ファンド（適格機関投資家専用）	りそなアセットマネジメント株式会社	38.7%	-0.1%	-0.5%	-
ＲＭマネーマザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する指定投資信託証券の比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる各指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、各指定投資先投資信託証券において分配金の支払いがあった場合、分配金を再投資したものとして計算しています。

※指定投資信託証券の概要につきましては、別途作成している「ファンド・オブ・ファンズ・ハンドブック」をご参照ください。委託会社のホームページからご覧いただけます。

FWりそな絶対収益アクティブファンド

指定投資信託証券の運用状況（2025年2月末現在）

ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	32.2%
株式先物	-16.3%
債券	37.2%
債券先物	30.6%
現金等	16.3%
合計	100.0%

ＦＯＦｓ用ＧＢＣＡファンドＲ（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	–
株式先物	–
債券	66.1%
債券先物	-29.6%
現金等	33.9%
合計	70.4%

りそな国内株式マーケットニュートラル（ＦｏＦｓ用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	86.5%
株式先物	-83.0%
債券	–
債券先物	–
現金等	10.6%
合計	14.0%

スパークス・ファンド・匠（ＦＯＦs用）（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
現物株式ロング	63.5%
その他ロング	–
現物株式ショート	-22.4%
その他ショート	-8.9%
グロス (ロング+ショート)	94.8%
ネット (ロング-ショート)	32.1%

りそな０－５年円建公社債ラダー型ファンド（適格機関投資家専用）

●ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	–
株式先物	–
債券	92.1%
債券先物	–
現金等	7.9%
合計	100.0%

●先物等を保有しているために、ポートフォリオの状況に記載されている組入比率の合計が100%とならない場合があります。●上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法などが異なる場合がある点をご留意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

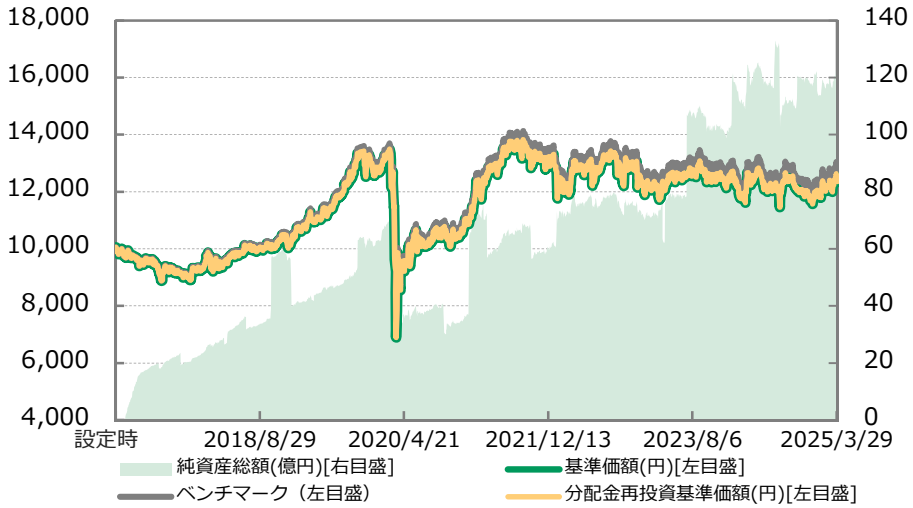
FWりそな国内リートインデックスオープン

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	12,362円	純資産総額	120.1億円



騰落率

	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	-0.4%	-0.3%
3ヵ月	3.7%	3.8%
6ヵ月	0.4%	0.6%
1年	-1.3%	-1.0%
3年	-4.6%	-3.8%
設定来	23.6%	27.7%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ポートフォリオの状況

資産	リート	先物	現金等	合計
組入比率	97.9%	2.0%	0.1%	100.0%

組入上位５銘柄

	銘柄名	組入比率
1	日本ビルファンド投資法人	7.4%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.5%
3	日本都市ファンド投資法人	5.0%
4	野村不動産マスターファンド投資法人	4.5%
5	ＫＤＸ不動産投資法人	4.1%

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ファンドの騰落率は-0.4%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は-0.3%となり、概ねベンチマークと連動した運用実績となりました。
引き続き市場全体の動向やベンチマークの構成銘柄の動向を注視しつつ、ベンチマークとの連動性を維持した運用の継続を図ります。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●ベンチマークは東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）です。●ベンチマークは当ファンドの設定時を10,000として指数化しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。●現金等には未収、未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。●上記組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
(121008)

りそなアセットマネジメント

【FW専用ファンド(プレミアムコース)】

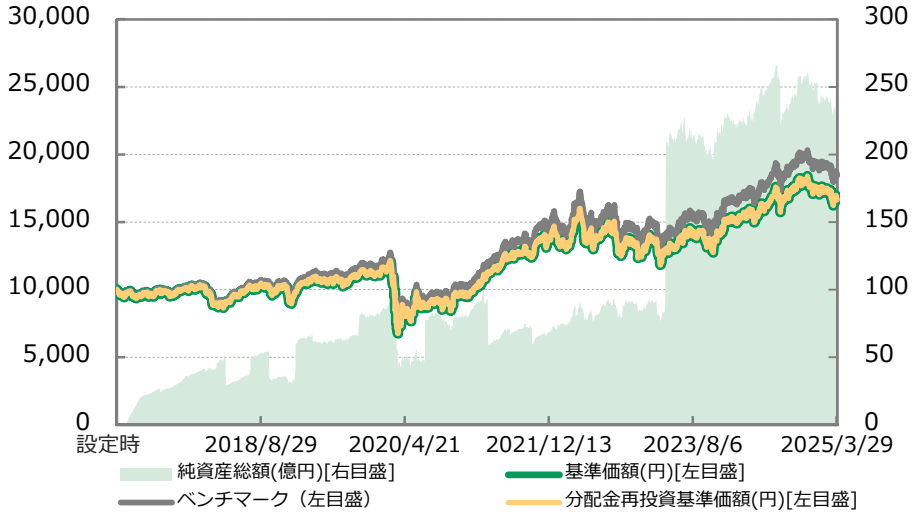
FWりそな先進国リートインデックスオープン

追加型投信／海外／不動産投信／インデックス型

設定日：2017年1月5日　決算日：原則9月20日　信託期間：無期限

基準価額・純資産総額の推移（2017年1月5日～2025年3月31日）

基準価額	16,671円	純資産総額	233.7億円



騰落率

	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	-2.9%	-2.9%
3ヵ月	-4.9%	-4.7%
6ヵ月	-3.6%	-3.2%
1年	4.3%	5.3%
3年	10.2%	13.2%
設定来	66.7%	84.5%

課税前分配金の推移

2024年9月20日	0円
2023年9月20日	0円
2022年9月20日	0円
2021年9月21日	0円
2020年9月23日	0円
設定来累計	0円

ポートフォリオの状況

資産	リート	先物	現金等	合計
組入比率	99.1%	0.8%	0.0%	100.0%

国・地域別配分

国・地域	アメリカ	オーストラリア	イギリス	シンガポール	フランス	その他	合計
組入比率	78.9%	6.8%	4.2%	3.0%	1.9%	5.2%	100.0%

※国・地域は発行国もしくは投資国を表示しています。

組入上位５銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ	7.0%
2	WELLTOWER INC	アメリカ	6.4%
3	EQUINIX INC	アメリカ	5.4%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3.5%
5	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.4%

※国・地域は発行国もしくは投資国を表示しています。

ファンドマネージャーのコメント

※作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ファンドの騰落率は-2.9%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は-2.9%となり、概ねベンチマークと連動した運用実績となりました。
引き続き市場全体の動向やベンチマークの構成銘柄の動向を注視しつつ、ベンチマークとの連動性を維持した運用の継続を図ります。

●基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。●分配金再投資基準価額は、当ファンドの公表している基準価額に、収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。●基準価額の騰落率は、当ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。●設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。●ベンチマークはＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）です。●ベンチマークは当ファンドの設定時を10,000として指数化しています。●基準価額および課税前分配金は１万口当たりで表示しています。●分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社が分配方針に基づいて判断し、分配を行わない場合があります。●分配金の一部またはすべてが元本の一部払戻しに相当する場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。●現金等には未収、未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。●上記組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
(121009)

ファンドの特色

1

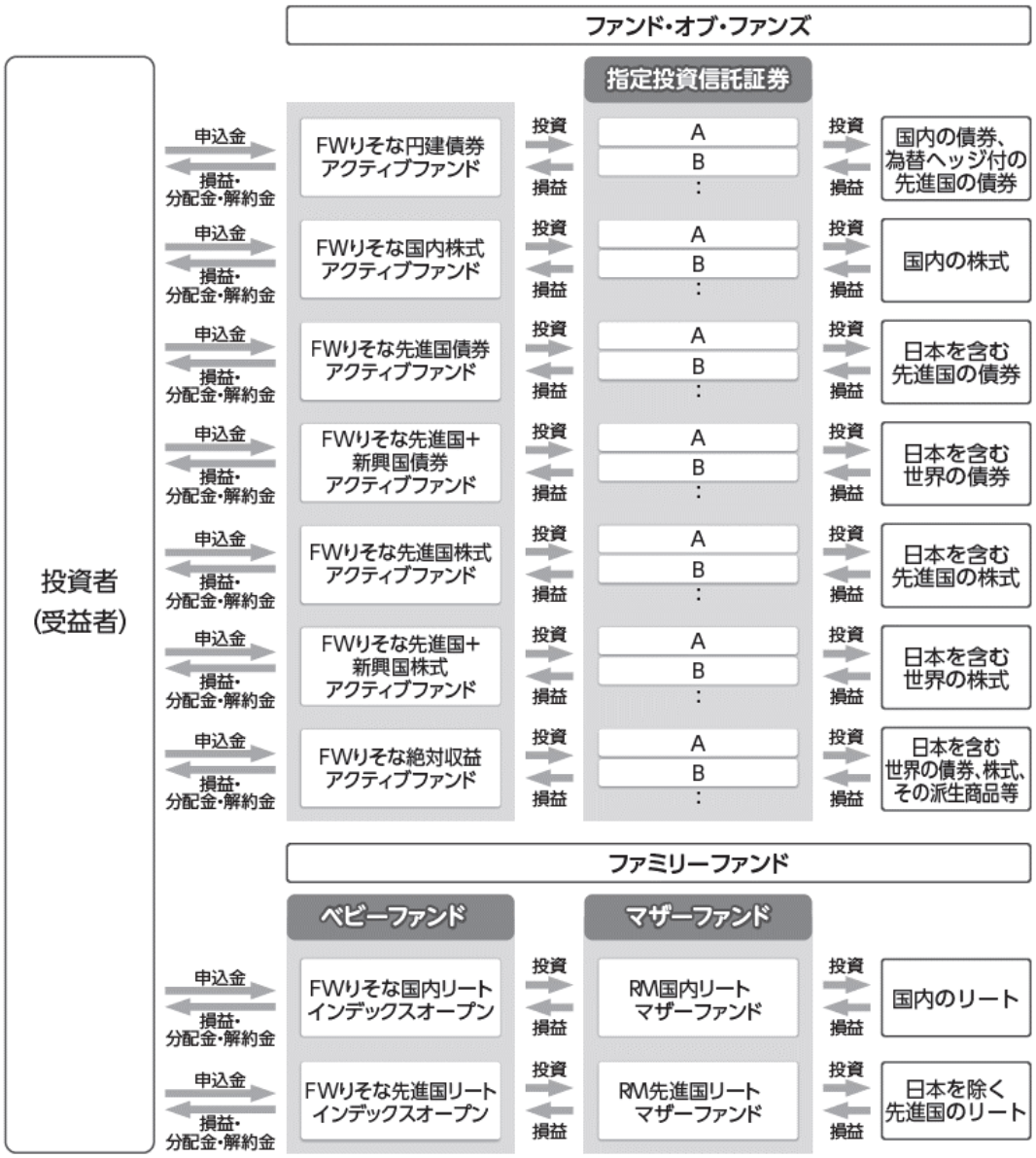
「ＦＷ専用ファンド（プレミアムコース）」は、原則として、投資者と株式会社りそな銀行が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するための専用ファンドです。

- 「ＦＷ専用ファンド（プレミアムコース）」の受益権の取得申込者は、株式会社りそな銀行と投資一任契約を締結する必要があります。

2

「ＦＷ専用ファンド（プレミアムコース）」を構成する各ファンドは、複数の指定投資信託証券を通じて実質的に投資を行うファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行いますが、一部はマザーファンドを通じて実質的に投資を行うファミリーファンド方式で運用を行います。

ファンドの仕組み



3　各ファンドの運用方針は以下の通りです。

FWりそな円建債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
FWりそな国内株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
FWりそな先進国債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
FWりそな先進国株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
FWりそな絶対収益アクティブファンド	主として絶対収益*を追求する複数の指定投資信託証券へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ＊「絶対収益」とは、特定の市場の変動の影響を受けない投資元本に対する収益を意味します。また、必ず収益を得られるという意味ではありません。
ＦＷりそな国内リートインデックスオープン	1. 国内の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指します。 2. ＲＭ国内リートマザーファンドを通じて、国内の不動産投資信託証券への投資を行います。
ＦＷりそな先進国リートインデックスオープン	1. 日本を除く先進国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 2. ＲＭ先進国リートマザーファンドを通じて、日本を除く先進国の不動産投資信託証券および不動産関連株式または先進国の不動産投資信託証券に関する指数を対象指数としたＥＴＦ（上場投資信託証券）への投資を行います。 3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

●各マザーファンドが対象とする指数の著作権等について

・ＲＭ国内リートマザーファンド

「東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）」は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託（ＲＥＩＴ）全銘柄を対象として算出した東証ＲＥＩＴ指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。なお、指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

・ＲＭ先進国リートマザーファンド

「Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）」は、Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み）をもとに委託会社が円換算して計算したものです。Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み）は、Ｓ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有するＳ＆Ｐグローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託（ＲＥＩＴ）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数であり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はＳ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属します。

4　ファンド・オブ・ファンズにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行います。

分配方針

原則、毎年9月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

FWりそな円建債券アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな円建債券アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることとしていますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響をうけ、基準価額が下落する場合があります。また為替ヘッジを行う通貨の短期金利より円短期金利が低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな円建債券アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.4730%程度（税抜0%～0.4300%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値 ①＋②	年率0.3575%～0.8305%程度（税抜0.3250%～0.7550%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。 また日々の純資産総額に応じても変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな国内株式アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな国内株式アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな国内株式アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.7150%程度（税抜0%～0.6500%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値 ①＋②	年率0.3575%～1.0725%程度（税抜0.3250%～0.9750%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな先進国債券アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな先進国債券アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな先進国債券アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.5610%程度（税抜0%～0.5500%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値①＋②	年率0.3575%～0.9185%程度（税抜0.3250%～0.8750%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな先進国＋新興国債券アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな先進国＋新興国債券アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.8140%程度（税抜0%～0.7400%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値①＋②	年率0.3575%～1.1715%程度（税抜0.3250%～1.0650%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな先進国株式アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな先進国株式アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな先進国株式アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.9625%程度（税抜0%～0.8750%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値 ①＋②	年率0.3575%～1.3200%程度（税抜0.3250%～1.2000%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな先進国＋新興国株式アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな先進国＋新興国株式アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～0.9900%程度（税抜0%～0.9000%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値①＋②	年率0.3575%～1.3475%程度（税抜0.3250%～1.2250%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな絶対収益アクティブファンド

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな絶対収益アクティブファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。
デリバティブ取引のリスク		実質的に組み入れている先物やオプション、スワップなどのデリバティブ取引の以下のようなリスクが顕在化した場合、基準価額の下落要因となります。 ・ 信用リスク：デリバティブの取引相手が倒産などによって当初の契約通りの取引を実行できなくなる可能性があります。 ・ 価額変動リスク：証拠金を積むなどによってレバレッジを効かせた結果、原資産の価格変動よりデリバティブの価格変動が大きくなる可能性があります。 ・ 流動性リスク：デリバティブの流動性の低下によって、理論価格よりも不利な価格でしか反対取引ができなかったり、反対取引自体ができない可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ＦＷりそな絶対収益アクティブファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料		ありません。
信託財産留保額		ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	当ファンド①	ファンドの純資産総額に対して、年率0.3575%（税抜0.325%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資顧問会社（株式会社大和ファンド・コンサルティング）に対する報酬が含まれております。
	投資対象とする投資信託証券②	年率0%～1.1000%程度（税抜0%～1.0000%程度）
	実質的に負担する運用管理費用の概算値 ①＋②	年率0.3575%～1.4575%程度（税抜0.3250%～1.3250%程度） ※ この値は目安であり、当ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。 ※ 投資対象とする投資信託証券によっては、運用実績に応じて別途成功報酬がかかる場合があります。
その他の費用・手数料		監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな国内リートインデックスオープン

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな国内リートインデックスオープンの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	リートの価格変動リスク	リートの価格は、不動産市況（不動産価格、賃貸料等）、金利・景気動向、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。リートの価格および分配金がその影響を受け下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<その他の留意点>

- ＦＷりそな国内リートインデックスオープンはマザーファンドへの投資を通じて東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）（以下、本頁において「指数」といいます。）に連動する投資成果を目指して運用しますが、主として以下の理由から、当ファンドの投資成果は指数の動きから乖離する場合があります。
  - ・指数を構成する全ての銘柄を指数の算出方法どおりに組み入れない場合や、指数を構成する銘柄以外の銘柄や先物を組み入れる場合があること。
  - ・有価証券等の売買価格や基準価額算出に使用される有価証券等の時価が、指数の算出に使用される有価証券等の時価と一致しない場合があること。
  - ・運用管理費用（信託報酬）、監査費用および有価証券等の売買にかかる売買委託手数料等の費用負担が発生すること。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの追加設定・解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響をおよぼすことがあります。

ＦＷりそな国内リートインデックスオープンの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対して、年率0.330%（税抜0.300%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上場投資信託証券、上場不動産投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、これら費用を表示することができません。
※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

FWりそな先進国リートインデックスオープン

投資リスク

<基準価額の変動要因>

ＦＷりそな先進国リートインデックスオープンの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いします。

市場リスク	リートの価格変動リスク	リートの価格は、不動産市況（不動産価格、賃貸料等）、金利・景気動向、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。リートの価格および分配金がその影響を受け下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<その他の留意点>

- ＦＷりそな先進国リートインデックスオープンはマザーファンドへの投資を通じてＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）（以下、本頁において「指数」といいます。）に連動する投資成果を目指して運用しますが、主として以下の理由から、当ファンドの投資成果は指数の動きから乖離する場合があります。
  - ・指数を構成する全ての銘柄を指数の算出方法どおりに組み入れない場合や、指数を構成する銘柄以外の銘柄や先物を組み入れる場合があること。
  - ・有価証券等の売買価格や基準価額算出に使用される有価証券等の時価が、指数の算出に使用される有価証券等の時価と一致しない場合があること。
  - ・外貨取引時の為替レートや基準価額算出に使用される為替レートが、指数の算出に使用される為替レートと一致しない場合があること。
  - ・運用管理費用（信託報酬）、監査費用および有価証券等の売買にかかる売買委託手数料等の費用負担が発生すること。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの追加設定・解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響をおよぼすことがあります。

ＦＷりそな先進国リートインデックスオープンの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対して、年率0.440%（税抜0.400%）を乗じて得た額とします。 信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等（これらの消費税等相当額を含みます。）は、その都度（監査費用は日々）ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。

※上場投資信託証券、上場不動産投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、これら費用を表示することができません。
※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

委託会社、その他の関係法人

■委託会社	**りそなアセットマネジメント株式会社** 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2858号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ファンドの運用の指図を行います。 お問い合わせ：0120-223351（営業日の午前9時～午後5時） ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/
■受託会社	**株式会社りそな銀行** ファンドの財産の保管および管理を行います。
■販売会社	募集・販売の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。
■投資顧問会社	**株式会社大和ファンド・コンサルティング** 指定投資信託証券の選定について、情報提供および助言を行います。

留意事項

<当資料について>
当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにりそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。投資信託のご購入にあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面を販売会社よりお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
なお、以下の点にもご留意ください。
○当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
○当資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用ができない場合があります。
○当資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
○当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

<ファンドについて>
○ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
○当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
○分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
○当ファンドは投資信託であり、預金や保険契約ではなく、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。

販売会社 （お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。）

商号（50音順）	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第7号	○		○	
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第593号	○		○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第7号	○		○	
株式会社みなと銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第22号	○		○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第36号	○		○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第3号	○	○	○	